

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東
 コード番号 6156 URL http://www.a-one-seimitsu.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 林 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 林 哲也 (TEL) 042-363-1039
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	467	6.7	124	23.1	134	27.4	88	8.0
26年6月期第1四半期	438	△3.2	101	△3.6	105	△4.7	81	22.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年6月期第1四半期	58.78		—					
26年6月期第1四半期	54.42		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	8,264	7,566	91.6
26年6月期	8,196	7,531	91.9

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 7,566百万円 26年6月期 7,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	66.00	66.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	967	7.9	272	28.2	284	26.4	180	7.6	120.60
通期	1,950	7.0	548	25.0	570	23.4	355	11.4	236.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年6月期1Q	1,500,000株	26年6月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	237株	26年6月期	237株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年6月期1Q	1,499,763株	26年6月期1Q	1,499,922株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、大きな変動はなく堅調に推移しました。国内製造業では4月の消費増税後の需要の落ち込みも早期に回復し夏場からは機械稼働率の高まりも見られました。製造業は大手企業中心に業績が回復してきており、7月から8月にかけて外注先にも仕事が回り製造業全般に堅調な動きとなりました。9月は決算時期という要素もあり予算の調整等の影響により、月の半ばからは生産が低下する企業が出てくるなど多少減速感がありました。国内製造業の競争力の源泉は、大量生産向け製品から小ロットの高品質製品の製造と海外の製品に使用される特殊素材や高機能部品の製造に軸足が移っていて、その分野での生産は堅調であり製造設備の拡充も行われています。またスマートフォンやタブレットなどの通信端末や自動車等に使用される半導体、電子デバイスの製造も活況であり、関連する製造装置や設備などの製造も堅調に推移しました。

海外においては米国で金融政策の量的緩和が終了しますが、自動車に代表される耐久消費財の消費は旺盛であり景気は好調を維持しました。欧州ではロシアへの経済制裁による景気への影響が始め足かせとなっています。新興国では中国での不動産市況が不安定になるなど経済成長の巡航速度がやや低下してきています。このように世界的な景気動向にはちぐはぐな動きが見られました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、7月、8月と受注が徐々に増加し9月は後半にかけてやや減少しました。当社の受注は国内、国外ともに複雑な加工に対応するためのセミオーダー品が多く、その傾向は継続しました。その結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は322,823千円(前年同期比7.6%増)、セグメント利益は160,347千円(前年同期比13.7%増)となりました。

切削工具部門では、高付加価値部品、製造設備等の生産が増加したことにより7月、8月と当社の受注も増加傾向を示し、9月は後半に受注が減少しました。この結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は135,091千円(前年同期比5.1%増)、セグメント利益は34,160千円(前年同期比35.8%増)となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する量産部品加工が一定の動きをしたことで当社の受注は堅調に推移しました。この結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は10,023千円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は3,886千円(前年同期比9.8%減)となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は467,938千円(前年同期比6.7%増)、営業利益は124,613千円(前年同期比23.1%増)、経常利益は134,436千円(前年同期比27.4%増)、四半期純利益は88,163千円(前年同期比8.0%増)となりました。

セグメント別の売上は、以下のとおりであります。

(%表示は対前年同期比)

事業部門別	期別	第24期 第1四半期 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)		第25期 第1四半期 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)		第24期 (自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
コレットチャック部門		300	(96.3)	322	(107.6)	1,248	(106.1)
切削工具部門		128	(99.7)	135	(105.1)	530	(103.2)
自動旋盤用カム部門		9	(80.1)	10	(100.7)	43	(112.0)
合計		438	(96.8)	467	(106.7)	1,823	(105.4)

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、5,008,079千円(前事業年度末は5,018,617千円)となり10,537千円の減少となりました。これは、現金及び預金が10,005千円、その他が5,914千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が20,134千円、繰延税金資産が3,160千円減少したこと等によるものであります。

また当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,256,039千円(前事業年度末は3,178,048千円)となり77,990千円の増加となりました。これは、建物及び構築物が11,363千円減少しましたが、投資有価証券が70,106千円、機械装置及び運搬具が20,194千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における総資産は、8,264,118千円(前事業年度末は8,196,665千円)となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、253,668千円(前事業年度末は247,742千円)となり5,925千円の増加となりました。これは、未払法人税等が69,578千円、役員賞与引当金が7,831千円減少しましたが、未払金が90,062千円増加したこと等によるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、444,197千円(前事業年度末は417,419千円)となり26,778千円の増加となりました。これは、繰延税金負債が20,729千円、退職給付引当金が3,798千円、役員退職慰労引当金が2,250千円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、697,866千円(前事業年度末は665,161千円)となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、7,566,252千円(前事業年度末は7,531,503千円)となり34,748千円の増加となりました。これは、利益剰余金が10,820千円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が45,569千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の見通しにつきましては、平成26年8月12日発表の業績予想どおりとなる見込みであります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,376,168	4,386,174
受取手形及び売掛金	415,574	395,440
製品	3,350	3,013
原材料	29,208	29,373
仕掛品	170,985	168,550
繰延税金資産	24,473	21,313
その他	1,159	7,074
貸倒引当金	△2,303	△2,860
流動資産合計	5,018,617	5,008,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	601,760	590,397
機械装置及び運搬具(純額)	611,751	631,946
土地	319,337	319,337
その他(純額)	4,601	4,210
有形固定資産合計	1,537,450	1,545,891
無形固定資産	7,968	7,419
投資その他の資産		
投資有価証券	1,632,509	1,702,616
その他	655	647
貸倒引当金	△534	△534
投資その他の資産合計	1,632,629	1,702,728
固定資産合計	3,178,048	3,256,039
資産合計	8,196,665	8,264,118
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,420	15,571
未払金	73,775	163,837
未払法人税等	118,743	49,165
役員賞与引当金	11,000	3,169
その他	27,803	21,924
流動負債合計	247,742	253,668
固定負債		
退職給付引当金	344,160	347,959
役員退職慰労引当金	61,730	63,980
繰延税金負債	11,528	32,258
固定負債合計	417,419	444,197
負債合計	665,161	697,866

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	337,400	337,400
利益剰余金	6,739,616	6,728,795
自己株式	△686	△686
株主資本合計	7,368,830	7,358,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	162,673	208,243
評価・換算差額等合計	162,673	208,243
純資産合計	7,531,503	7,566,252
負債純資産合計	8,196,665	8,264,118

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	438,619	467,938
売上原価	270,746	271,068
売上総利益	167,872	196,870
販売費及び一般管理費	66,677	72,256
営業利益	101,195	124,613
営業外収益		
受取利息	270	325
有価証券利息	126	6,076
受取配当金	2,274	2,353
その他	1,695	1,066
営業外収益合計	4,366	9,822
経常利益	105,562	134,436
特別利益		
投資有価証券売却益	22,930	-
固定資産売却益	-	79
特別利益合計	22,930	79
特別損失		
有形固定資産売却損	2	-
特別損失合計	2	-
税引前四半期純利益	128,491	134,516
法人税、住民税及び事業税	48,000	47,000
法人税等調整額	△1,146	△647
法人税等合計	46,853	46,352
四半期純利益	81,637	88,163

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	300,108	128,551	9,958	438,619	—	438,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	300,108	128,551	9,958	438,619	—	438,619
セグメント利益	141,080	25,152	4,307	170,540	△69,345	101,195

(注) 1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△2,668千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	322,823	135,091	10,023	467,938	—	467,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	322,823	135,091	10,023	467,938	—	467,938
セグメント利益	160,347	34,160	3,886	198,395	△73,781	124,613

(注) 1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△1,525千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。